

看護倫理Ⅱ(実践編)職場の倫理風土を育てる

- 1 ねらい 看護職が専門職として身につけるべき倫理の基礎を基に、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定を支えるプロセスを学び、自施設の活動に活かす
- 2 主催 公益社団法人富山県看護協会
- 3 日時 令8年10月15日(木) 9:30～16:30
※受付は開始30分前から行います
- 4 会場 富山県看護研修センター
- 5 講師 老人看護専門看護師 辻めぐみ
がん看護専門看護師 時山 麻美
- 6 対象者 Ⅱ～Ⅳ
- 7 受講料 会員 3,500円 非会員 7,000円
- 8 定員 80人
- 9 プログラム

時間	内容	講師
9:30～11:10	<p>【講義】・生命医学倫理の4原則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性における倫理的問題(ジェンダーに関することを含) <p>【グループワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の価値観について知る ・価値観が多様であることを理解する <p>～休憩～</p>	辻めぐみ 時山 麻美
11:10～12:30	<p>【講義】・意思決定を支えるプロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Jonsenらの4分割表を用いた倫理カンファレンスの実際 <p>【グループワーク】</p> <p>倫理的問題を共有し、身近なところで様々な倫理的問題が発生していることを理解する。臨床実践のなかで「あれ、おかしい、もやもやする」と感じた場面を共有する</p>	
12:30～13:30	～休憩～	
13:30～14:40	<p>【グループワーク】</p> <p>事例を通し倫理的問題について臨床倫理4分割表を用いて整理し、事例に潜む倫理的問題を顕在化しケアについて検討する</p> <p>～休憩～</p>	
14:40～15:10	発表・全体共有 ～休憩～	
15:10～16:30	<p>【講義】 自部署で倫理カンファレンスを効果的に進める 配慮と工夫について</p> <p>【グループワーク】</p> <p>「みたいこと」について共有・意見交換し実践に向けて動機づける</p> <p>【講義】 看護研究における研究倫理 質疑応答・まとめ</p> <p>終了のあいさつ アンケート回答</p>	